

## 【理事長所信】

公益社団法人寒河江青年会議所  
2018年度 理事長 稲村洋一

### ～はじめに～

公益社団法人寒河江青年会議所は昨年創立50周年を迎えることができました。これまでの先輩諸兄の数々の努力と、この地域を想う運動の数々は一言では振り返ることは出来ません。今日までの歩みを創りあげて来られた先輩諸兄に感謝をすると共に、歴史と伝統ある寒河江青年会議所の歩みをどのように継承していかなければならないのかを考えなくてはなりません。

昨年、寒河江青年会議所は大きな節目を迎え、今と未来を繋ぐ大切な役割を共感できる一年となりました。この地域を想い、寒河江西村山の「明るい豊かな社会」の実現のために日々邁進してこられた先輩諸兄に感謝をすると共に、先輩方と同様に先見性を養い地域の諸問題を抽出し、青年ならではの感性を大切にしながら「まちづくり」「ひとづくり」の運動を通してこれまで築き上げてこられた歴史と伝統を継承し、100周年へ向かい歩みを始めます。

### ～価値ある組織への昇華～

我々は、共通の目的、達成すべき目標、そのためのやり方を共有し、連帯責任を果たせる補完的な能力を備えた集合体であります。すべての事業に対して、常に能動的に物事を捉えなければなりません。公益社団法人としての矜持を持ち、他の団体にはない価値を磨いていかなければなりません。

そのためにも、社会に強い影響を与える運動を行い人々の「無関心」を「関心」に変え当事者意識を醸成し意識変革を目指します。我々の運動が独りよがりにならぬよう、更なる公益性を高めると同時に、事業を効率的に地域の方々へ発信し、形式的な発信にとどまることなくあらゆる手法を模索し、時代に即した運動を発信していきます。そして、これまで引き継いできたものをこれからの未来に繋げ、現状に満足することなく新しい価値を創造する挑戦を始めなければなりません。社会の付託と信頼に応え地域社会全体の発展を目指し、寒河江青年会議所を価値ある組織へ昇華させ、「社会の公器」として寒河江西村山の発展を実現します。

## ～次代を担う青少年の育成～

人は、出生から乳幼児期、学童期、思春期を経て、成人期といった段階を社会とかかわりながら過ごしていきます。人生のあらゆる場面において、常に人は他者と繋がり、助け合っており、他者との繋がりの中で生きて行きます。人は深い繋がりや、表面上の繋がりの中でも、居場所を見出し生きるための人間関係を構築しています。

青少年育成事業は「青年」と「少年」の事業であります。「少年」を指す子供たちと「青年」を指す我々親世代が共に学び共に行動し、人と人との繋がりが人を成長させることを学ばなければなりません。原体験からなる育みの場を提供し、未来の寒河江西村山を想像させ、郷土愛を持ってもらうことが大切です。そして、家族や学校や地域社会全体で少年の育成を支え、日本人としての精神文化である利他の精神と、人としての強さと優しさを身に着けることができる運動が必要であると確信します。

また、創立以来継続される歴史のある事業の本年51回目の児童文化賞（SJC賞）の授与を行います。地域の伝統文化を後世に続けようとする子供たちや隠れた善行に取り組む子供たちに誇りを持っていただき、能動的に活動する子供たちの姿を広く発信することで、他を巻き込み地域全体が郷土愛を育むことができます。

## ～未来を創る人財の発掘～

本来、青年会議所とは、「世のため、人のため、地域のため」と立ち上がった志ある青年の集まりです。これまで、寒河江青年会議所は他に誇れる事業を実施してきました。地域の方々を巻き込んだ事業は青年会議所の手を離れ、実施組織を組み目的や思いといった根幹は残しつつも新たな事業として市民の手にゆだねられ発展しています。さらに、近年の資質向上プログラムの成果もあり会員一人ひとりの意識も向上しています。そして、大きな事業に取り組むときに必要になってくるのはやはり人の力です。寒河江青年会議所の運動を広めるためにも、会員の拡大に努め、より大きな運動を巻き起こしていきます。そのためにも、創立以来継続的に行われている「拡大」を事業から次に繋がる拡大運動へ、運動から会員一人ひとりの習慣へ、習慣からLOMの文化へと進化させ、まだ見ぬ未来の寒河江西村山を担う人財を発掘します。

また、会員拡大に必要なのは、常に拡大を身近に感じることを考えることと、正しい知識を持つことです。地域にとって、青年会議所は必要であるということを正しく理解し、あらゆる手法で会員拡大を推し進める必要があります。

## ～未来を担う先導者の育成～

青年会議所は、根拠に基づく背景から目的を導きだし、幾通りの手法から効果を見据え検証し継承していく事業計画の作り方を学び、青年会議所の規模の利益を生かした人脈を得ることができます。青年会議所に入会したからこそ得られる経験や知識を、いかなる場面でも発揮できる原体験として自分のものにします。

さらに、青年会議所には規模の利益を生かした学びの場が数多く存在します。人と人との交流を通して得られる学びは何物にも代えがたい貴重な機会です。県内、国内、世界中に多くの同志が存在し学べること、刺激しあえることが無数に存在します。自ら学びの場へ足を運び、会員同士の交流や多くの学びの場に参加することが寒河江西村山を先導する我々の資質を向上させることとなります。

また、これまで姉妹都市寒川町とは大変多くの交流をしてきました。これまでの両市町の交流の歴史を理解し、志を同じくする同志たちとの交流をしなければなりません。寒河江市に心を寄せていただいている寒川町民に寒河江西村山の魅力を発信し絆を深めます。

青年会議所活動を通し、自分の価値観や思想を明確にし、行動する先導者となる人財を育成します。「明るい豊かな社会」の実現は、人財の成長がなければあり得ません。だからこそ、私たちが変革の先導者として成長することで、市民の意識を変革し寒河江西村山にいい影響を与えていかなければなりません。

## ～政策本位の政治選択の推進～

2011年、日本創成会議は、全国の地方自治体のうち約半数は人口減により2040年までに消滅する可能性のある「消滅可能性都市」として発表しました。これを受けて国は地方創生に資する政策を打ち出しました。まちづくりや政治も中央主導から地方主導に変化し、国民にとって身近な地方選挙、特に自治体の首長選挙においては、支持基盤や知名度や資本などが重要だった選挙から政策本位の政治選択ができる環境に移行しつつあります。この先の未来のために、自分たちが住み暮らすまちの行政の長を決める大事な選挙で政策を選択できる場が必要です。

また、平成28年の参議院選挙においては20～24歳の投票率が33%に留まりましたが、20歳以下の投票率が54.7%と選挙に対する意識の差が生じました。本年は、選挙権が20歳以上から18歳以上まで引き下げられてからこの地域では、初めての首長選挙となります。この好機に、幅広い年齢層の方々から政策本位の政治選択の場に足を運び、自分のまちの将来を真剣に考える機会を政治的に公平中立な我々が提供することは、公益社団法人としての存在意義を高めると共に、将来への責任世代として果たすべき役割は多きはずです。

## ～地域の魅力発信と共創の推進～

日本のロードバイクの販売台数は10年前から比べて4倍以上増えており、ロードバイク人口もここ数年で増えている傾向にあります。合わせて、山形県内でも大変多くの自転車のイベントが開催されるようになりました。本年で6回目を迎えるツール・ド・さくらんぼはこれまでたくさんの方々を支えられ、ここでしか味わえない、ここでしか体感できない寒河江西村山地域の一大事業として日本全国から参加者が集まって来ています。このように全国各地の人々に寒河江西村山を発信できる機会を活かし、地域発展に結びつける先を見据えた方向性を戦略的に描く必要性があります。

寒河江青年会議所が主体となって地域との連携を先導し寒河江西村山の地域の魅力を発信してまいりましたが、もう一歩高みを望むためにも、先を見据えたビジョンを描く戦略をもって行動し地域発展を促していかなければなりません。そして、この事業を通し観光客誘致や交流人口を増やすために、あらゆる手法を模索し事業開催後もこの地域へ繰り返し足を運んでいただく必要があります。

また近年、生産年齢人口減少により、超人手不足時代に突入しました。寒河江西村山でも慢性的な働き手不足が始まっております。この地域で育ちこの地域で学んだ学生が就職を機に都会へと移り住む人が多く見られることも、働き手不足に拍車をかけています。ツール・ド・さくらんぼを通して、寒河江西村山が抱える諸問題にも取り組み、誰もが夢を描ける明るい寒河江西村山を目指します。

## ～さいごに～

J Cは道具です

J Cに使われることのないように

J Cを使い倒しましょう

J Cのネームとバッジと名刺をもっていけばどこにでも行くことができるし、誰とでも会うことができます。私は、J Cを使いこれまで大変多くの著名人や有識者や各首長の方々とも面談することができました。仕事の名刺や肩書だけではなかなか会うことすらできない方々の講演を聞いたり、ひざを突き合わせ議論する機会を数多くいただきました。

J Cをすることが目的ではなく、目的実現のためJ Cを使い倒しましょう。青年会議所の運動と活動の本質を見極め、当事者意識を持ち自ら律し成長を止めることなく次の世代に繋いで行きましょう。

## 基本理念

当事者意識を持ち、自らを律し成長しよう

## 基本方針

1. 価値ある組織への昇華
2. 次代を担う青少年の育成
3. 未来を創る人財の発掘
4. 未来を担う先導者の育成
5. 政策本位の政治選択の推進
6. 地域の魅力発進と共創の推進